

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	基礎看護技術論	1	30	1 年次	4 月	市場美織 橋口清美
授業概要						
<p>看護実践の基本となり、あらゆる発達段階、健康の状態にある対象への看護で共通する知識・技術の習得ができることをねらう。具体的には、対象との関係を形成するためのコミュニケーション技術、あらゆる健康状態にある対象の安全を守るために必要な基礎的知識と技術を身につける。また、看護実践において人々の健康にかかわる学習を支援する技術について学ぶ。</p>						
科目目標						
<p>対象との関係形成のためのコミュニケーション技術および、あらゆる健康状態にある対象の安全を守るために必要な基礎的知識と技術を身につける。看護における学習支援について基礎的な知識と技術を身につける。</p>						
使用教材						
<p>テキスト：①系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I，医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II，医学書院 ③看護がみえる① vol 1 基礎看護技術，メディックメディア 参考文献等</p>						
評価						
筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
2 時間・1 回	1. 看護技術とは 1) 看護技術の特徴 2) 看護技術の範囲 3) 看護技術を適切に実践するための要素 4) 看護技術の発展と修得のために					講義
6 時間・3 回	1. コミュニケーションの意義と目的 1) コミュニケーションの定義や看護における意義 2) 看護・医療におけるコミュニケーション 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程 1) コミュニケーションの手段 2) コミュニケーションの要素とプロセス 3) ミスコミュニケーション 3. 関係構築のためのコミュニケーションの基本 1) 基本的な態度 2) 接近的行動と非接近的行動 4. 効果的なコミュニケーションの実際 1) コミュニケーション技術					講義 演習（ロールプレイング）

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	基礎看護技術論	1	30	1 年次	4 月	市場美織 橋口清美
時間・回数	授業内容					方法
14 時間・7 回	<p>1. 感染防止の技術</p> <p>1) 感染の成立と予防</p> <p>2) 標準予防策（スタンダードプリコーション）</p> <p>3) 感染経路別予防策 （1）接触予防策 （2）飛沫予防策（3）空気予防策</p> <p>4) 洗浄・消毒・滅菌【実技含む】 （1）手洗い （2）消毒 （3）滅菌法</p> <p>5) 無菌操作【実技含む】 （1）滅菌バッグの開封 （2）鉗子・鑷子の取り扱い （3）滅菌物の取り出し方 （4）滅菌手袋の着用 （5）滅菌ガウンの着用</p> <p>6) 感染性廃棄物の取扱い （1）判断基準 （2）分別・表示 （3）取扱い時の注意点</p> <p>2. 安全確保の技術</p> <p>1) 安全確保の基礎知識 （1）セーフティマネジメント （2）医療事故と医療過誤 （3）報告システム（インシデントレポート・アクシデントレポート）</p> <p>2) 誤薬防止</p> <p>3) チューブ類の予定外抜去防止</p> <p>4) 患者誤認防止</p> <p>5) 転倒・転落防止</p> <p>6) 薬剤・放射線暴露の防止</p> <p>*2)～6) について詳細は、2・3 年次の「医療安全」で学習する</p>					講義 実技
7 時間・4 回	<p>1. 看護における学習支援</p> <p>1) 学習支援とは</p> <p>2) 看護師の役割としての学習支援</p> <p>3) 看護の学習支援技術の発展</p> <p>2. 学習支援の実際</p> <p>1) 対象者に合わせた目標設定</p> <p>2) 対象者に合わせた支援 （1）支援内容 （2）支援方法 （3）媒体の工夫</p> <p>3) 個別指導と集団指導の特性と適用</p>					講義 演習（ロールプレイング）
1 時間・1 回	筆記試験					
<p>備考 ○感染防止のための技術は、日常生活援助技術Ⅱ・Ⅲ、診療の補助技術論演習の技術試験に応用する。</p> <p>○学習支援に関しては、問題解決技術論演習を学んだ後で学習する。</p>						

